

平成26年柴田町議会懇談会

報告書

テーマ

「あなたの考える地域づくりの課題」

「町政・議会全般」

平成26年11月26日

柴田町議会

議会の活動を町民に報告するとともに、議会や町政に対する町民の意見・要望等を直接聴取し議会活動に反映させるため、平成26年7月27日と8月2日に町内各小学校区単位で、一般懇談会を開催しました。

今回は、懇談会のテーマを「あなたの考える地域づくりの課題」としました。事前に、宮城大学地域連携センター地域振興事業部長の古川隆氏を講師とする公開議員研修会を開催し、町民とともに地域づくりの課題の解決方法について学習して議会懇談会に臨みました。各懇談会場では、活発に意見が交わされました。

また、平成26年9月24日に柴田町ボランティア・NPO活動連絡会との団体懇談会を開催しました。柴田町ボランティア・NPO活動連絡会長を初めとする多くの役員にご出席をいただき、団体の現状や団体の抱えている課題などに関して意見が交わされました。

これら一般懇談会及び団体懇談会で出された質問・意見・要望等について、次のとおりまとめましたので、報告します。

平成26年11月26日

議長 加藤 克明 殿

議会懇談会実行委員会

委員長	高橋 たい子
副委員長	桜場 政行
委員	斎藤 義勝
委員	広沢 真
委員	舟山 彰
委員	星 吉郎

目 次

総 括

1	一般懇談会	-----	1
(1)	参加者数	-----	1
(2)	質問・意見・要望等の件数	-----	1
2	団体懇談会	-----	2
(1)	参加者数	-----	2
(2)	議員から団体に対する質問の件数	-----	2
3	町長への申し入れ事項	-----	3
4	議長への申し入れ事項	-----	3
5	平成27年議会懇談会実行委員会への申し送り事項	-	3

質問・意見・要望等

1	一般懇談会	-----	4
(1)	地域づくりの課題に関する質問・意見・要望等	-	4
(2)	町政に関する質問・意見・要望等	-----	9
(3)	議会に関する質問・意見・要望等	-----	18
2	団体懇談会	-----	20

資 料

I	平成26年柴田町議会懇談会開催要領	-----	22
II	議会懇談会実行委員会の活動経過	-----	26

【総括】

テーマ 「あなたの考える地域づくりの課題」
「町政・議会全般」

1 一般懇談会

(1) 参加者数

開催日	開催時間	開催会場	小学校区	担当班	参加者数	臨時 託児所 利用者数
平成26年 7月27日 (日)	14:00 ～ 16:00	船迫生涯学習センター (2階会議室)	船迫小	2班	13人	—
	19:00 ～ 21:00	西住公民館(ホール)	西住小	2班	5人	—
8月2日 (土)	14:00 ～ 16:00	槻木生涯学習センター (1階会議室1)	槻木小	1班	11人	—
		柴田町保健センター (4階会議室)	船岡小	3班	10人	3人
	19:00 ～ 21:00	船岡生涯学習センター (1階会議室)	東船岡小	1班	0人	—
		農村環境改善センター (1階農事研修室)	柴田小	3班	8人	—
計					47人 (前年は71人)	3人 (前年は0人)

(2) 質問・意見・要望等の件数

① 地域づくりの課題に関する質問・意見・要望等

開催会場	質問・意見・要望等の件数
柴田町保健センター	6件
槻木生涯学習センター	3件
船迫生涯学習センター	2件
船岡生涯学習センター	—
農村環境改善センター	8件
西住公民館	2件
計	21件

② 町政に関する質問・意見・要望等

開催会場	質問・意見・要望等の件数
柴田町保健センター	4件
槻木生涯学習センター	23件
船迫生涯学習センター	9件
船岡生涯学習センター	—
農村環境改善センター	10件
西住公民館	3件
計	49件

③ 議会に関する質問・意見・要望等

開催会場	質問・意見・要望等の件数
柴田町保健センター	3件
槻木生涯学習センター	0件
船迫生涯学習センター	3件
船岡生涯学習センター	—
農村環境改善センター	1件
西住公民館	4件
計	11件

2 団体懇談会

(1) 参加者数

開催日	開催時間	開催会場	参加者数		
平成26年 9月24日 (水)	13:30 ～ 15:30	柴田町地域福祉センター 研修室	31人		
			内 訳	柴田町ボランティア・NPO活動連絡会	13人
				柴田町議会議員	18人

(2) 議員から団体に対する質問の件数

項目	質問の件数
団体の現状と課題などについて	6件

3 町長への申し入れ事項

- ・ 少子高齢化により、地域コミュニティの維持が困難になっていることから、地域コミュニティの現状をよく把握するとともに、住民の意見を細かく聞いて丁寧な支援をすること。

4 議長への申し入れ事項

- ・ 議会懇談会の開催方法等について、速やかに改善策を検討するよう、平成27年議会懇談会実行委員会に指示すること。

5 平成27年議会懇談会実行委員会への申し送り事項

- ・ 議会懇談会の開催方法等について、速やかに改善策を打ち出すこと。そのため、議会懇談会実行委員会を早期に立ち上げること。

【質問・意見・要望等】

1 一般懇談会

(1) 地域づくりの課題に関する質問・意見・要望等

ア 柴田町保健センター

対象地区／船岡小学校区		担当班／3班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	地域計画の策定に当たり、各行政区でアンケートを実施したと思う。各行政区とも、世帯の構成など、踏み込んだ内容で自分の行政区の実態調査を実施し、地域計画を策定しているのか。	まちづくり政策課	地域計画策定において、町からはアンケート調査票のサンプルを提供し、地域の実情に応じて調査項目を検討していただきました。その調査票に基づき、地域の課題や問題点、そして解決策等を議論し、地域計画としてまとめています。 このように、各地域における実態に合わせ、地域主体となり地域計画を策定しています。
②	住民の高齢化によって、ボランティア活動などへの参加者や参加率が非常に悪化している。今後の地域づくりを考えても、何らかの対策が必要ではないか。	まちづくり政策課	各行政区への地域支援を実施しながら、地域支援の充実を図っていかうと試行錯誤しています。対策を講じてもそれに参加する地域のみなさんの行動がないと結果に結び付きませんので、まずは自ら身近な地域活動に楽しく参加するという気持ちを持っていただければと思います。
③	子どもと大人の関わりが希薄になっている。子どもたちの将来を考えると、地域にいる高齢者と子ども会や小学校単位で、お互い信頼し合える活動を継続的に行うことが必要ではないか。	まちづくり政策課	町、地域、家庭、学校での連携による世代間交流事業が少ないと思っています。町としても現在、各行政区への地域支援を実施しながら、地域支援の充実を図っていかうと試行錯誤しています。ぜひ、地域活動の中にも、学校と連携した取り組みを取り入れるなどの工夫が必要だと思います。地域でできる「あいさつ運動」から始めてみてはいかがでしょうか。
④	高齢者の増加に伴い、独り暮らしの人も多くなっている。これからは民生委員だけでなく、有償ボランティアを募り、週一回弁当を持って訪問するなどの見守りを増やし、孤独死を防いでほしい。 また、亡くなった場合、葬儀費用の軽減措置を考えてほしい。	福祉課	介護保険法の改正により、地域支援事業の内容が大きく変更されることから、町としては、地域協力や介護ボランティア又はNPO法人などの育成を図り、平成29年度からボランティア活動ができるよう対応していきます。 また、葬儀費用の負担は、個人の宗教に基づき執り行われるものであり、行政が個人の弔いに関与すべきではないものにとらえております。
⑤	見守り隊の高齢化が進む中でボランティアの数も減っている。地域づくりを考えても、増員対策や保険加入などの見直しが必要ではないか。	教育総務課	見守り隊の活動は、ボランティア活動であるために安定した協力者の確保は難しいものがありますが、学校や行政区等の協力を得て、活動いただける方の人員確保を行ってまいります。 保険加入につきましては、学校を通して、各見守り隊の活動者を把握し、26年度からボランティア保険への加入をしております。

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
⑥	船岡小学校学区の子ども会加入率が悪化している。原因はいろいろあるが、このようなことが組織の崩壊、ひいては地域の崩壊にもつながりかねない。町としても本気で対策を考えてほしい。	生涯学習課	少子化に伴う児童数の減少や保護者世代の子育てへの意識の変化などにより、子ども会加入者が減っています。町では「全国子ども会安全共済会」の掛け金を負担しています。また、子ども会育成会のイベントを支援するとともに、子どもフェスティバルなどで加入促進のPRをしていきます。

イ 槻木生涯学習センター

対象地区／槻木小学校区 担当班／1班			
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	国の政策で65歳が定年となった。これから先の地域づくりも65歳以上になると思われる。企業においても、50歳を超えたら地域行事に参加するなどの提案をしてほしい。また、地域活性化には、その地区の子どもたちの盛り上がりが必要である。	まちづくり政策課	地域には多くの行事や活動があります。年齢に関係なく、自分でできそうなものから積極的に参加していかなければならないと考えます。互いに地域を支えるという思いを育てていくことが、子どもの時から大事であり、そのためには日頃から、地域と家庭が一体となって取り組みを行う必要があります。特に、年齢階層の違う住民に実行委員になってもらい、事業計画を策定することも手段と考えます。今までの踏襲を脱却してみてください。
②	槻木に貝塚があるが、知らない人が多い。柴田町の貝塚は、全国的にも有名なので、この貝塚を利用し、展示できるような施設を設けられないか。	生涯学習課	町には館前貝塚をはじめ6箇所の貝塚があり、町史跡として指定し標柱の管理をしています。中居貝塚は畑に貝殻が露出しているため、小学校の見学や史跡巡りなどで活用しています。また、しばたの郷土館思源閣の常設展示室では、町内から出土した土師器・須恵器などを展示するとともに貝塚の成り立ちなども説明しています。しかしながら、保存のための施設整備は難しい状況です。
③	「槻木」の木を知らない人が多い。移植して新町公園にあるものと、個人で移植した人もいます。維持管理費として年間5,000円をいただいているが、「槻木」の木の保存に力を入れてほしい。	生涯学習課	町制施行30周年記念事業で名木・古木31本を指定しました。槻木の地名の由来となったツキの並木の名残として「山津見神社のツキノキ」も含まれ、町で標柱を建てていますが、個人所有のため管理は所有者の方をお願いしています。

ウ 船迫生涯学習センター

対象地区／船迫小学校区 担当班／2班			
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	高齢化のため、区行事の参加者が少なくなっている。町で対策を考えられないか。	まちづくり政策課	地域づくりのために、いろいろ工夫をして地域活動に関わる住民を増やしている行政区もあります。情報を提供しますので、ぜひ参考にしてください。各地域は、人口規模や地形などの特異性があり一律な基準で対策を講じることは困難です。そこで、地域の実情に合わせた中で、住民で話し合いをして、できることから実施することが大事と思われます。今までとは違った発想も必要と考えています。

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
②	PTA 行事の参加率が非常に低い。参加してもメリットがない、役を嫌がる、行事がきついなどの理由で参加をためらっている。町で対策を考えられないか。	教育総務課	PTA 活動の目的は、保護者と学校が協力、連携して子どもの健全育成を図ることにあります。 参加率の低迷について、町として対策を講じるということではなく、誰もが参加しやすいPTA 活動の環境をつくるよう、学校と保護者の方々と相互理解し工夫して活動していくことが大切だと考えております。

エ 船岡生涯学習センター

対象地区／東船岡小学校区		担当班／1 班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答

参加者なし

オ 農村環境改善センター

対象地区／柴田小学校区		担当班／3 班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	高齢化が進んでいる地域では、一世帯あたりの区費（運営費）の負担が重くなっている。低所得世帯には大変つらいものがある。各種募金の見直し、集会所の運営や江払いなど、具体的に5年後、10年後に向けた過疎化対策を。	まちづくり政策課	人口減少社会を迎え、大きな課題と考えます。 今までの社会システムでは対応できません。そこで、国、県、町、企業、地域等が連携した新システムが必要と考えます。国は、地方の人口減少に歯止めをかけ、地方を活性化する「地方創生」の実現に向けて「まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、総戦略として対策方針をまとめることになっております。町としても、どのような方針が示されるのか注視しているところです。現在は、全課一丸となって情報収集をしているところです。
②	地域計画実施2年目に入り、実施する中で経費がかさんでいる。ソフト事業に対しても7割補助にならないか。	まちづくり政策課	地域計画実施に当たっては、地域計画を羅針盤として、地域負担を考慮し優先順を考えながら身の丈に合った活動を進めていただくようお話ししています。各行政区に交付する地域づくり補助金は、本年度予算で総額2千万円となっており、以前に比べてかなり手厚く、ある程度自由度の高い制度になっています。当分の間は、現状の補助の中で、より効果的な事業が展開されるよう説明していきます。
③	若い人たちの地域の行事参加が増えず、地区の役員の高齢化が進んでいる。男女の交流を目玉に料理教室を開催しているが、参加は進んでいない。町として若者を集める手立てを考えてほしい。	まちづくり政策課	地域づくりのために、いろいろ工夫をして地域活動に関わる住民を増やしている行政区もあります。情報を提供しますので、ぜひ参考にしてください。各地域は、人口規模や地形などの特異性があり、一律な基準で対策を講じることは困難です。 そこで、地域の実情に合わせた中で、住民で話し合いをして、できることから実施することが大事と思われます。今までと違った発想も必要と考えています。

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回答
④	少子高齢化が進み、地区の将来の担い手も少なく苦慮している。「槻木まちづくり研究会」が、人口の増加や若い世代の次代の担い手作りにつながることを期待したい。	まちづくり政策課	7月のキックオフから現在まで3回研究会を開催しました。将来の姿を示す「槻木のまちづくりの構想」を創るために、25人の会員が現在、議論しているところです。 12月下旬までには構想をまとめ、広報紙でお知らせをしていきます。
⑤	町民の意見を幅広くとりあげて、「この町で子育てをしてよかった」と思えるまちづくりを。	子ども家庭課	今年度は、船迫こどもセンター、三名生児童館を新築して利用開始し、槻木保育所にゆとり保育室の増築工事を行って来年4月からの利用開始に備えるなど、子育て支援施設の充実を進めてまいりました。 今後も計画的な施設整備を進めるとともに、利用しやすい施設の運営と子育て支援体制の充実を図り、子育て親子が安心して過ごすことができる環境整備に努めてまいります。
⑥	船岡に行ったときのことであるが、夏休みになり、夜の公園に子どもたちがたむろしていた。注意しない大人も増えているので、子どもたちの非行防止に学校関係とも相談し、取り組んでほしい。	教育総務課	各小中学校では、長期休業前に休業中の生活について指導を行っております。子どもたちの非行防止のためには、学校関係者だけではなく、地域の方々の協力が不可欠ですので、青少年健全育成活動などを通して、非行防止に努めてまいります。
⑦	里山ハイキングコースの整備により訪問者が増えている。さらに増やしたいと道沿いに「南天」を植栽し、3年計画で「南天街道」にしようとしている。地域だけの取り組みだけでなく、町として物心両面での支援ができないか。	農政課	柴田町緑化推進委員会では、行政区が取り組む緑化推進事業に対して、花苗や花木代等の資材購入費の支援（上限3万円まで）を行っています。農政課が窓口となっていますので、行政区を通じてご相談ください。
⑧	農村部の嫁不足対策を、町としても真剣に考えてほしい。	農政課	以前は、農業の後継者対策として地域に結婚相談員を設置していた時期がありましたが、時代の移り変わりとともに廃止されました。 JAの青年部が中心となって、出会いの場となるイベント等が開催されています。

カ 西住公民館

対象地区／西住小学校区		担当班／2班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回答
①	町では、地域計画に対してどのように関わっていくのか。また、地域の要望をしっかりと受け入れてほしい。	まちづくり政策課	地域計画は、地域のみなさんが主体的に地域づくりを進めるための計画であります。町では、策定された地域計画について、各部署における事業や個別計画に生かしていきます。現在策定中の町の最上位計画である後期基本計画にも、「地域計画」の項目を新たに設けて、町の重要施策としております。 地域計画に基づく活動に対する支援については、地

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	※前ページの続き	まちづくり 政策課	<p>域づくり補助金交付、情報収集・整理・提供、各種地域づくり相談・助言など、さまざまな支援を行っています。特に、地域支援員（2人）を配置し、各地域の情報を収集して、各地域の参考にしてもらうための情報の発信と提供も併せて行ってきています。</p> <p>今後とも、このような支援のほか、地域課題解決のための研修・座談会等の場づくりや、地域がより元気になるため地域支援の充実に向けて地域の皆さんとともに話し合いながら考えていきます。</p> <p>地域の要望には、時間や財源が伴う場合もあり、町全体事業の中で優先順を考慮して対応していくことになることもご理解ください。</p>
②	<p>42 の行政区から提出された地域計画の中に、優先順位をつけるソフト事業とハード事業がある。ソフト事業は、対応できる程度の内容である。ハード事業になるとカバーしきれない。優先順位をどのようにするのか。</p>	まちづくり 政策課	<p>地域計画に盛り込んだソフト事業やハード事業の全ての事業については、関連する課に配布し、町への事業要望として整理しています。その後、事業調整票として行政区に町としてのアドバイスや考え方、そして、町と地域の役割分担等を記入し行政区に回答しています。</p> <p>地域計画に掲げられた内容は、各課のハード事業計画に生かすこととしていますが、時間や財源が多くかかるものもあります。その場合には町全体の事業の中で緊急性・優先順位が高いものから対応しているところであり、行政区と協議して進めていきます。</p>

(2) 町政に関する質問・意見・要望等

ア 柴田町保健センター

対象地区／船岡小学校区		担当班／3班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回答
①	柴田町特別職給与等審議会条例を改正してほしい。 町長の給料が高すぎるし、審議会の内容が雑であると感じる。平成20年と21年は、諮問と答申の日付が一緒であり、また、会議録の開示がされていない。会議録を開示し、町民が審議会を傍聴できるようにしてほしい。	総務課	条例改正は予定しておりません。 町長の給料等については、民間の情勢を反映した民間給与及び人事院の勧告を受けた一般職員の改定状況を勘案し、近隣市町の特別職給料等との均衡も図りながら、今後検討してまいります。また、審議会の概要についても公表できるよう検討してまいります。
②	柴田町の基金保有額をみれば、県内22町村で最下位であり、地方債の発行残高も多い。柴田町が夕張市のように財政破綻する危険はないと言えるのか。	財政課	県内の市町村は、東日本大震災による震災復興特別交付金により、ただ単に復興事業の遅延等により基金を積み増した状況にあるだけです。一方、柴田町は、復興事業を含め必要な事業を推進しながら基金を積み立てており、起債等管理基金を含めて15億円（平成25年度末現在）を越す状況です。 財政調整基金の適正額は標準財政規模の10%とされており、財政運営には問題はないと考えています。
③	予算編成過程の透明化を図ってほしい。	財政課	地方自治法第149条により、予算編成過程を含め予算の調製権は首長にあると規定されていますので、現在は考えていません。
④	剣水地区から東船岡小学校への通学路で、道幅が狭い所や水路にフェンスがないなど危険な箇所があるので、整備してほしい。 また、もっと近くて安全な通学路は確保できないか。	都市建設課	平成24年8月に学校と保護者から通学路の点検報告を受け、管理者の土地改良区でフェンスの破損箇所を修繕しました。なお、道路に係る危険箇所については随時対処してまいります。
		教育総務課	通学路の指定につきましては、学校や関係機関と協議をし、より安全と考えられる路線を指定しておりますが、必要に応じて変更するなどの対応をしております。

イ 槻木生涯学習センター

対象地区／槻木小学校区		担当班／1班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回答
①	山崎製パン周辺の交通量が多いので、道路の規制ができないか。	まちづくり政策課	道路の規制は公安委員会で判断し行うこととなります。そこで、大河原警察署と協議しました。その結果、ご指摘のエリアの交通量を減らすための規制としては、区間を設定し時間帯通行止めが考えられます。しかし、この規制により規制区間では車両が通行できず、工場の物流への影響、通行できないことによる国道4号線・町道槻木172号線（旧国道4号線）等周辺道路や白幡橋周辺の渋滞への影響など、規制をすることでさまざまな問題が発生します。そのために、大河原警察署では、このエリアで交通量を減らすための規

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	※前ページの続き	まちづくり 政策課	<p>制は難しいとのこと。白幡橋周辺の渋滞緩和などの対策については、国や県に町は何度も要望しているところであり、その対策が講じられれば、ある程度工場周辺の交通量の減少にもつながると考えています。</p> <p>山崎製パン工場には、従業員の通勤や物品の搬出入に当たっては、可能な限り住宅地内を避け、国道4号線を利用するよう申し入れを行い、従業員に周知しているところです。</p>
②	槻木地区の空き家を利用したいが、紹介するようなシステムをつくれなにか。	まちづくり 政策課	<p>国の「空き家対策の推進に関する特別措置法」の成立を見据えながら、そして、町の空き家条例制定に向けた準備の中で検討します。</p>
③	デマンド型乗合タクシーを呼んでも、なかなか来ないがどうしてか。	まちづくり 政策課	<p>デマンド型乗合タクシーは、午前8時から午後4時まで1時間ごとに運行する形態です。また、乗合という性格から、複数の利用者が利用するため、交通事情等何らかの理由で到着時間に遅延が発生し、突発的に予約された時間に到着できないことも考えられます。</p> <p>ご迷惑をおかけしますが、時間には余裕を持ってご利用されますようお願いいたします。</p>
④	魅力ある地区にするために槻木駅前活性化をしてほしい。そして、雇用が生まれるような会社を誘致できないか。	まちづくり 政策課	<p>現在、槻木まちづくり研究会で、将来の槻木のまちづくり像について話し合いをしています。12月下旬には、具体的な取り組みの提案がされてきますので、期待しているところです。実施に向け、全課一丸となって議論を進めていきます。</p>
		商工観光課	<p>財政支援策や規制緩和策等のPRや、情報提供を実施することで、町内の既存企業と関連した企業の誘致や既存企業の生産設備の拡充を促し、働く場の確保に努めます。</p>
⑤	空き家で、雑草や木が茂っているのは何とかならないか。	町民環境課	<p>現在、空き家・空き地の管理については、現地を確認し、所有者等へ適正管理をしていただくよう文書等で通知をしていますが、空き家・空き地の台帳整備を関係各課で連携して行っておりますので、今後は台帳を基に所有者等へ適正管理をお願いしてまいります。</p>
⑥	農村環境改善センターに伊達政宗公騎馬像があるが、その場所ではなくもっとにぎやかなところに設置して、町の発展のために利用していただきたい。例えば船岡城址公園など。	生涯学習課	<p>農村環境改善センターにある伊達政宗公騎馬像は、昭和62年の大河ドラマに合わせ、仙台駅に1年間程度の展示用として強化プラスチックで制作されたものです。そのため、復元精度が悪く破損しやすく、平成11年には兜や太刀の鞘を修繕している状況ですので、移設は難しい状況です。</p>
⑦	槻木地区にも図書館を設置して、司書を配置できないか。	生涯学習課	<p>現在、新図書館の建設場所も未定であり、槻木地区の方々からのご要望も聞いております。槻木エリアに設置することも視野に入れ、町民の皆さんの意見を聞きながら検討していきたいと考えています。</p>

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
⑧	槻木駅コミュニティプラザや体育館を、もっと安く便利に借りられるよう、改善できないか。	商工観光課	槻木駅コミュニティプラザの使用料は、1時間当たり、町外居住者及び町外企業は470円、町内居住者及び町内企業は310円となっています。また、使用許可申請は槻木事務所でも受け付けており、町内利用者の利便性が図られています。
		生涯学習課	町民体育館がなくなり、現存する施設の利用率も高まっている状況です。多くの方が平等に利用できるように利用団体による調整会議を実施しています。会議後には町ホームページにより施設の空き情報が確認でき、空いていれば利用できます。今後は（仮称）総合体育館建設に向けての準備を進めてまいります。
⑨	白幡橋が老朽化している。万が一の大震災に備えて、槻木地区にもう一本、橋をかけることはできないか。	都市建設課	白幡橋は、平成24年度に県で施設の長期使用可能を目的とした長寿命化対策工事を実施しました。今後は、平成26年度に耐震化対策工事を実施します。
⑩	宗運から笑楽までの側溝は7月に完成した。側溝の方が高く、都市建設課に確認したら、南浦地区の雨水対策のためという。雨が降るたびに水が溜まる。通学路にもなっているので、早く改善できないか。	都市建設課	本年度から南浦地区の雨水対策工事が始まります。対策工事とあわせ改善してまいりますので、ご理解をお願いいたします。
⑪	槻木派出所前の側溝に土砂が堆積している。県道なので町として働きかけてほしい。	都市建設課	県道を管理する県大河原土木事務所に対応いただくように要望しました。
⑫	葛岡地区は狭い道路が多い。大型バスは入れないので、東禅寺のところまで移動しなければならぬ。高齢者が多いので、ぜひ道幅を広くしてほしい。	都市建設課	当地区は、道路両側には建物が連たんしている住宅地であることから、現時点での道路の拡幅計画は予定されておりません。
⑬	槻木玉淵医院前の県道の歩道の改良ができないか。	都市建設課	県道を管理する県大河原土木事務所へ、歩道の改良について要望します。
⑭	時間がかかっても、槻木地区のまちづくりを、セットバックを含めてできないか。	都市建設課	幅員の狭い道路は、沿線住民に生活上の不便が生じるだけではなく、防災面等まちづくりの支障となることもあります。 町では、平成22年度から国の事業で狭あい道路整備等促進事業に取り組んでいます。槻木地区においても1路線を整備していますが、今後は、槻木地区のまちづくりの方向性を見極め、個別に計画していくこととなります。

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
⑮	槻木白幡一丁目は、冠水常襲地帯である。道路のかさ上げはできないか。	都市建設課	本年度から槻木地区の雨水対策工事を行います。現在、槻木市街地の雨水が全て南浦排水路に流入する形となっていることから、新しい排水路を設けて雨水を分水するものです。道路の冠水が軽減されると考えていますので、ご理解をお願いいたします。
⑯	国道4号線バイパスが大渋滞したときに備えて、岩沼市と柴田町をつなぐ迂回路を作ってほしい。	都市建設課	現在、国土交通省や県、県内市町村と「渋滞対策連絡協議会」を組織して渋滞緩和の対策に取り組んでおりますので、ご理解をお願いします。
⑰	槻木について、もっと投資していただきたい。ゆずが丘から丘陵地帯を通る幹線道路を作ってほしい。	都市建設課	槻木地区においては、学校、道路、河川改修等、相当の投資を行っています。 槻木北部地区の道路ネットワークは、各集落から県道亙理村田線とを結ぶ現在の幹線道路を拡幅しながら整備を進めていく考えです。
⑱	サニータウンと葛岡を結ぶ道路を早く作ってほしい。	都市建設課	平成25年度からサニータウンと葛岡地区を結ぶ町道槻木72号線の舗装工事に着手しました。平成27年度の完成を目指して工事を進めております。
⑲	コメリから槻木生涯学習センターの道路が狭い。三町合併協議時に拡張の話があったが、どうなっているのか。	都市建設課	コメリの交差点は、槻木大橋の側道と距離が近く、交通規制の関係で交差点の改良ができないことから、当路線の拡幅計画はありません。
⑳	白幡橋から槻木方面に来る道路が危険である。特に自転車は車道を走るが、狭く、交通量も非常に多い。いつ事故があってもおかしくない状態なので、改善はできないか。	都市建設課	現在の道路幅が決まっていますので、拡幅は困難となりますが、歩道を走行しやすくなるよう修繕等による対応を考えてまいります。
㉑	農産物直売所を、成田・葉坂などでやっているが、槻木駅前の空き店舗なども活用できないか。	農政課	成田、葉坂、富上の農産物直売所は、集落の農家が地元の農作物を直接消費者に届けたいと農家自らが立ち上げ運営しています。 柴田町商工会と連携して、空き店舗対策の提案として検討協議してまいります。
㉒	農家で野菜づくりをしているが、イノシシで困っている。電気柵が10a当たり8万円から10万円かかる。箱わなも10万円かかる。大崎市の電気柵無料貸し出しのようにできないか。	農政課	町では、イノシシから農林作物を守る対策として、電気柵等の防護柵を設置する場合、10万円を限度として設置費用の2分の1を補助する制度を設けています。9月末現在で26件、合計1,396,000円の補助金の申請を受けています。 他にも、狩猟免許試験受験者用講習会の受講料補助やイノシシ捕獲用箱わな購入経費の3分の1の補助なども準備しておりますので、農政課へご相談ください。

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
②③	里山について施設に行くサインがあまりない。もっと分かりやすい絵図などで示せないか。	農政課	自然を活かした里山ハイキングコースを平成 22 年度から整備し、多くの方にご利用いただいております。簡易なコース表示を実施していますが、まだ不十分とのご意見をいただいております。少しずつご期待に応えられるよう整備に努めてまいります。

ウ 船迫生涯学習センター

対象地区／船迫小学校区 担当班／2班			
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	船迫地区は、集中豪雨などで土砂災害の恐れのある箇所が 39 カ所との説明を聞いて、町にスピーカーの設置をお願いした。 しかし、災害の恐れがあるときは、広報車でお知らせするとのことであった。 非常時に町内全域が一気に伝達できるスピーカーの設置をお願いしたい。	総務課	災害から身を守る情報発信手段の1つとして、スピーカーの設置をというご意見ですが、現在の住宅の構造から、機密性が高いことや、集中豪雨の音で、スピーカーの情報を得ることがあまりできないのが現状です。 町では、消防団、区長さんには防災無線で情報の発信や、広報車で広報活動を行います。また、登録した方々へのメール送信や、土砂災害警戒情報が発令された場合に、町内全域のドコモ、au、ソフトバンク3社の携帯利用者に対しエリアメールで、情報を発信いたします。 さらに、災害発生警戒時期には、テレビ画面上にテロップでの情報表示放送のほか、ラジオでも情報が放送されます。 つきましては、町でもさまざまな手段で情報を発信いたしますが、限界がありますので、町民自らも、情報を得る努力をしていただき、身の安全にご留意ください。
②	町長の1期4年間の退職金が、2,000万円とか4,000万円と聞いたが、金額は。	総務課	町長の1期4年間の退職金は約1,900万円です。そこから税金分を差し引くと約1,300万円になります。
③	柴田町特別職給料等審議会の議事録を公開してほしいので、条例改正を行っていただきたい。	総務課	条例改正は予定しておりません。 審議会の概要については公表できるよう検討してまいります。
④	柴田町は、20年後、30年後のマスタープランを持っているのか。	まちづくり政策課	柴田町では、社会経済環境の変化に応じた政策を中期な期間内に実現するため、20年後や30年後を見据えた長期マスタープランは策定していません。平成22年度から平成30年度までを期間とする第5次柴田町総合計画を策定し、まちの将来像「みんなで育てる笑顔輝く 元気なまち」実現のため、基本構想、基本計画、実施計画をそれぞれ策定し、各種施策を実施しています。

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
⑤	国民健康保険税が年金から引き落としになっているが、割賦にできないか。 また、一時所得があった年には、住民税が非常に高くなるので、日数に余裕をもった割賦の発行ができないか。	税務課	国民健康保険税の納付方法は、65歳以上の方は基本的に年金からの引き落としになりますが、希望すれば口座振替に納付方法を変更できます。 住民税は、通常6月に町から納税義務者に税額通知書（納付書）を送付します。現在、6月中旬に送付していますが、これを早めることは困難な状況です。
⑥	西船迫公園で、犬猫の糞の始末をしているが、飼い主のマナーが悪い。町に疑似のカメラ設置をお願いしたが、動きがない。犬の糞とたばこの吸い殻に関する条例を考えてほしい。	町民環境課	動物のフン害については、苦情があった都度、行政区長や仙南保健所と連携し、飼い主への指導等を行っております。まずは、飼い主に対して、動物の愛護及び管理に関する法律に基づく適正な飼養について、理解を深めていただき、関係機関と連携を密にし、意識高揚を図ってまいりますので、ご理解をお願いします。
⑦	ゆとりの育児支援事業が利用しにくい。慣らし保育が長すぎる、1週間前の予約が取りづらいなど、もっと利用しやすい運営を考えてほしい。	子ども家庭課	ゆとりの育児支援をご利用いただく場合、初めての環境の中で過ごすお子さんの負担軽減を考えて、緊急利用の場合を除き、半日程度の慣らし保育を1回実施しています。1日にお預かりできる人数が限られていることから、利用調整をさせていただく場合もありますので、利用日が決まり次第、早めに申し込みしてください。
⑧	大腸がん検診で、昨年度までは1カ月前に届いた容器が、今年は半年も前に届いたのはなぜか。試薬が変化しないか心配だし、12月の検診を忘れてしまう方もいるのでは。	健康推進課	昨年度までは、行政区ごとの検診指定期間は1カ月として実施してきましたが、今年度は、7月から平成27年1月までの7カ月間の検診期間中であれば、行政区にかかわらず、大腸がん検診を受診できるような体制を整え、6月に受診票を一斉に発送しました。 なお、検査試薬が変化することはありませんので、安心して受診してください。 今後も検診期間の見直しを図るなど、受診しやすい環境づくりに努めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。
⑨	町営住宅は、高齢者、低所得者のための住宅になっているが、中所得者も入居できるような施策を考えなければならないのでは。入居者の4割が高齢者である。町ではどんなプランがあるのか。	都市建設課	中堅所得者層が入居できる公的住宅の制度はありますが、柴田町は低所得者向け住宅の整備を中心に進めております。高齢者への対応は、段差の解消や手摺りの設置などのバリアフリー住宅を提供することとしています。今後、高齢者向け住宅の導入が可能な検討していきます。

エ 船岡生涯学習センター

対象地区／東船岡小学校区		担当班／1班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答

参加者なし

オ 農村環境改善センター

対象地区／柴田小学校区		担当班／3班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	先日、観光客から、「柴田小学校裏の蓮の花の場所について、役場に問い合わせたところ、担当課以外のことは分からないとか、場所がどこか分からないと言われた」と聞いた。観光客からの問い合わせには、きちんと案内できるようにしてほしい。	総務課	町の事業、特にイベントに関しては、担当課以外の課及び職員に対しても、情報の共有を図り横のつながりを強化し、観光客だけでなく住民からの問い合わせに対しても対応をしております。
②	農免道路の成田から船迫間に速度規制の標識があるが、成田から富沢にかけては速度規制がなく危険である。この区間に速度規制ができないか。	まちづくり政策課	速度規制は公安委員会で判断し行うこととなります。成田から富沢にかけての槻木農免道路の交通規制等について、大河原警察署と協議しました。その結果、速度規制については、ご指摘の区間の速度規制は難しいとのことでした。しかし、規制区間に関係する住民の方々や団体の意向が重要とのことから、住民等から速度規制の要望書が提出されれば、あらためて検討するとのことでした。 町としてもその要望書を確認し、必要に応じて意見書を添えたいと考えています。
③	県道 52 号線の成田の交差点の信号を迂回するため、町道成田 6 号線を通行する車がある。その道路は、住宅もあり高齢者も通行することから、危険なので車両の通行に何らかの規制ができないか。	まちづくり政策課	車両通行に関する規制は公安委員会で判断し行うこととなります。そこで、大河原警察署に相談しました。大河原警察署では、当該道路について、交通事故の報告もなく、交通量は少ないとの認識であり、車両の通行に規制をかけることは困難であると回答をいただきました。 ただし、ご要望について、不明な部分もあり、詳しい内容をお知らせいただければ、あらためて大河原警察署に相談いたします。
④	各行政区の集会所の運営にも、世帯数が少ない区にとっては負担が大きい。町でソーラーパネルを設置し、その売電収益を集会所の運営経費に充てることはできないか。	財政課	町では、集会所にソーラーパネルの設置は考えてはおりません。
⑤	23 区で空き家の雑草が問題になり、持ち主でない地区の住民で除草や刈り払いを行っている。町からの要請で空き家の調査をしたが、結果が伝わってこない。調査結果や家主への対応がどうなっているのか、報告してほしい。	町民環境課	現在、空き家・空き地の台帳整備を関係各課で連携して行っておりますが、現地調査のための調査票が整っていないため、まだ行われておりません。調査票が整い次第、現地調査を行い、所有者等へ適正管理を文書等でお願ひしてまいります。

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
⑥	農村環境改善センターの敷地内で、農免道路から荒屋敷側のグラウンドの法面に雑草や雑木が繁茂している。近所の高齢者が見かねて草刈りをを行っている。急傾斜地なことと、暑い中での作業は大変危険である。ここは町が行うべきではないか。	生涯学習課	農免道路の法面については、7月と10月の年2回農政課で草刈りを実施しております。また、農村環境改善センターの敷地内についても、年3回草刈りを実施している状況です。
⑦	農村環境改善センターが今後総合運動場になると聞いたが、早急に計画を取りまとめる必要があると思う。また、そういった施設を作って、以前のように職員を配置してほしい。	生涯学習課	農村環境改善センターに隣接する柴田町生涯教育総合運動場ですが、現在テニスコートと多目的グラウンドが整備されています。今後の整備については、策定中の「柴田町スポーツ推進計画」の中で検討してまいります。
⑧	町道富沢16号線の工事が進んでいるが、盛土のため中居前や塩前の交差点の見通しが悪く危険である。せめて交差点付近だけでも1mぐらい盛土を削ることはできないか。 また、盛土で沈下が進み、現状の道路が傾斜し、大雨のときなどには水たまりができ、通行が困難なときがある。排水溝を増やすなどの対策をお願いしたい。	都市建設課	現地盤の沈下を進めるため載荷盛土を行っていますが、沈下の進行状態を確認して早めに土砂の撤去ができるようにします。 また、降雨の排水による水たまりで通行に迷惑とならないように、排水管の増設や路面の補修により、通行の安全確保に努めてまいります。
⑨	柴田小学校と五間掘川間の低地排水路だが、大雨が降ると道路が冠水し、小学生が通学できなくなることがある。町として対策をお願いしたい。	都市建設課	道路のかさ上げを検討してまいります。
⑩	入間田地区の五間掘川と関根堀川の浚渫は、いつ行うのか。	都市建設課	大雨等により土砂の堆積が多く、通水断面を阻害している箇所から、計画的に実施したいと考えています。

カ 西住公民館

対象地区／西住小学校区		担当班／2班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	西住地区に、児童館と集会所を一緒にした建物を作ってほしい。	財政課	西住地区冠水対策完了後、建設及び合築の有無を含めて検討します。

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
②	地域の環境問題として、西住独自で「生活学校」を立ち上げ、プールの清掃、EM菌の活動をしている。できれば、他の地区にも「生活学校」組織を立ち上げてほしい。	町民環境課	<p>環境問題に関する団体としては、各行政区で組織している公衆衛生組合があり、ごみ集積所の管理や違反ごみの分別等の活動を行っていただいております。また、西住生活学校も参加いただいている柴田町エコライフ推進会議があり、ごみ減量化等の環境問題に取り組んでいただいております。</p> <p>まずは、これらの団体の活性化を図り環境問題に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いします。</p>
③	西住地区の船岡用水路について、フェンスの整備と蓋をかけることはできないか。	都市建設課	<p>施設管理者である、柴田町土地改良区に対して、要望をしております。</p>

(3) 議会に関する質問・意見・要望等

ア 柴田町保健センター

対象地区／船岡小学校区		担当班／3班
No.	質問・意見・要望等	回答
①	議会や議員は、地域づくりや独り暮らしの高齢者のことをもっと真剣に考えてほしい。	これまでも、多くの議員が議会で取り上げてきています。ご意見を受け止め、研鑽に努めていきますので、ぜひ、議会の傍聴に来てください。
②	予算審査・決算審査について、本当に議員は審議をしているのか。賛成ばかりではないか。	予算審査・決算審査については、3日間にわたり審議をしています。さらに、ご意見として承ります。
③	議会懇談会に参加する人が少ない。議員は、懇談会開催の周知徹底をしているのか。	毎年、検討を重ねながら実施しています。今後も参加者が増えるように努力していきます。

イ 槻木生涯学習センター

対象地区／槻木小学校区		担当班／1班
No.	質問・意見・要望等	回答

議会に関する質問・意見・要望等なし

ウ 船迫生涯学習センター

対象地区／船迫小学校区		担当班／2班
No.	質問・意見・要望等	回答
①	柴田町議会議員の政務活動費の金額は。また、その用途は。	政務活動費は、年額 48,000 円です。研修会の交通費や参加費、宿泊費に使います。
②	議員の年間出席日数は。	平成 25 年度の議会の開催日数は 36 日で、各委員会・全員協議会の開催日数は 100 日です。 また、議員は、それぞれ個別の議員活動を行っています。
③	議員活動報告をお知らせ版に掲載してほしい。	お知らせ版は、町の広報です。議員個人の活動を載せるには、その趣旨が違いますので、掲載できません。

エ 船岡生涯学習センター

対象地区／東船岡小学校区		担当班／1班
No.	質問・意見・要望等	回答

参加者なし

オ 農村環境改善センター

対象地区／柴田小学校区 担当班／3班		
No.	質問・意見・要望等	回 答
①	<p>議会懇談会への参加者が少ない。具体的に区長に5人、10人と参加をお願いしてみても。</p> <p>また、若い人に町や議会の取り組みがわかってもらえるよう、若者向けの参加PRを。</p>	<p>積極的なご意見をいただき、ありがとうございます。実施に向けて、参考にします。</p>

カ 西住公民館

対象地区／西住小学校区 担当班／2班		
No.	質問・意見・要望等	回 答
①	<p>42行政区の全ての地域計画を、全議員が読むべきである。</p>	<p>ご意見として承り、検討します。</p>
②	<p>年間傍聴者数が172人、1日平均6.5人となるが、これを増やす手立てはないか。例えば、それぞれの議員の支持者に傍聴に来てもらうようにしてはどうか。</p>	<p>ご意見として承り、それぞれの議員に伝えて、努力してもらうよう要請します。</p>
③	<p>議会の一般質問で、同じようなテーマがたくさんある。同じような質問であれば、その問題を深めた方が住民のためになると思う。もっとやりとりを活性化しないと、傍聴に行ってもつまらない。</p>	<p>ご意見を真摯に受け止め、議員個人個人が研鑽に努めます。</p>
④	<p>議会懇談会に参加する人が少ないので、案内を回覧してもらい、議会懇談会のテーマについても検討してもらいたい。</p>	<p>積極的なご意見、ありがとうございます。</p> <p>町では、お知らせ版に記事を掲載した場合、回覧板を出すことができないことになっていますので、ご了承ください。</p> <p>また、議会懇談会のテーマについては、毎年、検討しています。</p>

2 団体懇談会（対象：柴田町ボランティア・NPO活動連絡会）

（1）団体の現状と課題などについて

No.	質問【議員】	回答【ボランティア・NPO 活動連絡会】
①	<p>【議員】 サークル育成の苦労話は。</p>	<p>【わくわく元気応援クラブ】 ダンベルサークルは、介護予防を区単位で行うことができれば、高齢者が参加しやすいということで、地域包括支援センターからお願いをされたのが始まりである。 ダンベル体操をワンクール4回行い、各地区にダンベルサークルの立ち上げをお願いし、自立を促していった。今では、町内に30のサークルが誕生し、それぞれが活動をしている。 各地区の指導者に指導方法などのサポートの協力を行っている。 しかし、リーダーが高齢者になり、リーダーを譲りたくても後継者がいなく、2団体が休業中である。</p> <p>ダンベル体操にこだわることなく、最初はレクリエーションから入り、楽しみを一番に考えている。東北福祉大学の講座を5～6人に受けてもらいその話を聞いたり、また、地域包括支援センターで開かれる講習会にも1団体3～4人に参加してもらい、スキルを伝授してもらう活動も行っている。</p>
②	<p>【議員】 それぞれの団体で、どんな後継者問題の苦労があるか。また、その解決策は。</p>	<p>【ビューティボランティア仙南】 ビューティボランティア仙南は、発足から15年が過ぎた。会員の高齢化とメンバーの固定化が進んだので、人員を増やす活動を行っている。ゆる。ぶらでPR活動を行ってみたり、研修会を開催するなど、入会していただけるように取り組んでいるが、結果が出ない。</p>
③	<p>【議員】 次世代の後継者（リーダー）を育ててはどうか。</p>	<p>【個人ボランティア】 後継者を育てることは、会員みんなが思っ努力していることである。</p>
④	<p>【議員】 市民活動のボランティアと災害ボランティアを含めた考え方で次世代育成をしてはどうか。</p>	<p>【船岡婦人会】 船岡婦人会では50人の会員がいるが、活動に参加できる方は、70歳以上の20人ぐらいである。勉強会や研修会だと参加者が少なく、30代、40代の入会はとても難しい。現会員でも会費をもらうのが精一杯である。</p> <p>【事務局】 次世代育成は、大きな課題である。60代のボランティアの方が大勢ではないが、いる。今の60代の考え方は、65歳で年金を満額でもらい地域デビューしようかという方がいるが、それでは遅い。せめて50代までに町内会やPTAでデビューしていただき、地域のキーマンになってほしい。</p> <p>ただ、地域に関わっていきたいと思っている方もいる。会に入会していないボランティアの団体もある。例えば傾聴ボランティア、パソコンボランティアがあり、社協とボランティア連絡会が地道につながりながらやっていく。次世代をつなげていくことが究極のボランティアではないかと思う。</p>

No.	質問【議員】	回答【ボランティア・NPO 活動連絡会】
⑤	<p>【議員】 町内 30 団体のダンベルサークルのリーダーは、各地区（自治会）の役員をしているのか。</p>	<p>【わくわく元気応援クラブ】 30 団体のうち 3 分の 1 が地区の世話役をしている。しかし、地区外から参加してリーダーをしている方もいる。公民館で活動している団体は、広範囲からの参加者がいる。</p>
⑥	<p>【議員】 議員は賛助会員にはなれない。しかし、議員が会に協力できることは、個人ボランティアの会員になることと考えるが、どうか。</p>	<p>【個人ボランティア】 ボランティアや会の理解をしてもらうことは大事なことで、応援してもらえらるなら一緒に行くことは歓迎する。</p>

【資料】

I 平成26年柴田町議会懇談会開催要領

1. 開催目的

本議会は、議会活動の報告や、議会や町政に対する意見・要望等を直接聴取するため、町民を対象とした議会懇談会（以下「一般懇談会」という。）及び、町内団体等を対象とした議会懇談会（以下「団体懇談会」という。）を開催する。

2. 実行委員会

- 1) 議会懇談会は、議会懇談会実行委員会（以下「実行委員会」という。）が企画し、実施する。
- 2) 実行委員会の委員（以下「実行委員」という。）は、議席番号1番から3番まで、4番から6番まで、7番から9番まで、10番から12番まで、13番から15番まで、16番から18番までの6つに区分し、それぞれの区分ごとに毎年輪番制で1名ずつ選出するものとし、本年は次のとおりとする。

区分 (議席番号)	実行委員名
1～3	○ 桜場 政行
4～6	斎藤 義勝
7～9	◎ 高橋たい子
10～12	広沢 真
13～15	舟山 彰
16～18	星 吉郎

※ 実行委員名欄の「◎」は実行委員長、「○」は副実行委員長。(H26.3.19第1回実行委員会において選任)

3. 一般懇談会

(1) 開催日時及び会場

開催日時	小学校区	開催会場	対象行政区	担当班
7月27日(日)	午後の部 (14:00～16:00)	船迫小 船迫生涯学習センター (2階会議室2)	10. 28. 29A. 29B. 29C. 29D	2班
	夜間の部 (19:00～21:00)	西住小 西住公民館 (ホール)	30	2班
8月2日(土)	午後の部 (14:00～16:00)	槻木小 槻木生涯学習センター (1階会議室1)	13. 14. 15. 16. 17A. 17B. 18A. 18B. 19. 20	1班
		船岡小 柴田町役場 (保健センター4階会議室)	1. 2. 3. 4. 5. 6A. 6B. 7A. 7B. 8. 9A. 9B. 11C	3班
	夜間の部 (19:00～21:00)	東船岡小 船岡生涯学習センター (2階和室)	11A. 11B. 11D. 12A. 12B	1班
		柴田小 農村環境改善センター (1階農事研修室)	21. 22. 23. 24. 25. 26. 27	3班

(2) 懇談会の内容

1) 報告

- ① 平成25年柴田町議会懇談会に係る要望事項等の報告
- ② 平成25年度柴田町議会活動報告

2) 懇談

- ① テーマ1 「あなたの考える地域づくりの課題」
- ② テーマ2 「町政・議会全般」

(3) 班編成及び役割分担等

- ① 班は6人で組織し、3班編成とする。
- ② 実行委員は、実行委員会において調整して2名ずつ3つの班（1班・2班・3班）に振り分ける。
- ③ 実行委員を除く議員を議席番号1番から6番まで、7番から12番まで、13番から18番までの3つに区分し、それぞれの区分毎の抽選により3つの班に振り分ける。
なお、議員に欠員があるときは、事務局職員が代わりに抽選を行い、振り分けられた班を減員する。
- ④ 各班に代表者、司会者、報告者、懇談担当者、記録者を置き、班員の互選によって決める。
- ⑤ 各班（1班、2班、3班）が担当する会場は、それぞれ2会場とし、各班代表者の抽選によって決定する。

[担当班名簿]

班名	班員				担当会場
1 班 (6人)	代表者	舟山 彰	懇談担当者	高橋たい子	槻木生涯学習センター 船岡生涯学習センター
	司会者	佐々木裕子	記録者	吉田 和夫	
	報告者	平間奈緒美	記録者	我妻 弘国	
2 班 (6人)	代表者	星 吉郎	懇談担当者	秋本 好則	船迫生涯学習センター 西住公民館
	司会者	加藤 克明	記録者	桜場 政行	
	報告者	安部 俊三	記録者	有賀 光子	
3 班 (6人)	代表者	水戸 義裕	懇談担当者	広沢 真	柴田町保健センター 農村環境改善センター
	司会者	白内恵美子	記録者	平間 幸弘	
	報告者	斎藤 義勝	記録者	佐々木 守	

(4) 周知方法

- ① 行政区長会（4月23日）で、行政区長に参加案内を呼びかける。
※日程変更のため、6月18日開催の柴田町社会を明るくする運動推進委員会総会の際にも、再度呼びかけを実施する。
- ② 町お知らせ版（7月1日号、7月15日号）に掲載して周知する。
- ③ 町内各施設にポスターを張る。
- ④ 町ホームページに掲載する。
- ⑤ 議員から声掛けをする。（1人チラシ40枚）

(5) 記録

懇談会記録は、会議経過及び参加者から出された意見、要望、提言などを要点記録する。
なお、各班の代表者は、班員に対し、班ごとの記録の内容を必ず確認させること。

(6) 結果報告書の提出

各班の代表者は、8月11日（月）までに結果報告書を（5）の記録とあわせて議長へ提出する。

(7) 資料

参加者に懇談会資料を配布する。

(8) 臨時託児所の設置 (略)

(9) 開催当日の日程

【午後の部】	
13:00-14:00	会場集合・準備（机いす・放送機器・看板等）
14:00-15:45	議会懇談会 (次第)
	1. 開会あいさつ
	2. 議会報告
	① 平成25年柴田町議会懇談会に係る要望事項等の報告

		② 平成25年度柴田町議会活動報告
		3. 懇談
		① テーマ「あなたの考える地域づくりの課題」
		② 町政・議会全般について
		4. 閉会あいさつ
15:45-16:00	かたづけ	
	【夜間の部】	
18:00-19:00		会場集合・準備（机いす・放送機器・看板等）
19:00-20:45		議会懇談会 (次第)
		1. 開会あいさつ
		2. 議会報告
		① 平成25年柴田町議会懇談会に係る要望事項等の報告
		② 平成25年度柴田町議会活動報告
		3. 懇談
		① テーマ「あなたの考える地域づくりの課題」
		② 町政・議会全般について
		4. 閉会あいさつ
20:45-21:00	かたづけ	

(10) 議会懇談会の進行 (略)

(11) 準備物一覧 (略)

(12) その他

- 1) 参加者からの発言は、より多くの方が発言できるよう運営に配慮する。他人から依頼されてきた質問に対しては答える必要はなく、あくまでも参加者本人の質問に対して答えること。
- 2) 議員の発言は、特定の議員に偏らないようお互いに良識をもって対応する。
- 3) 議員個人の見解は発言しない方が望ましいが、参加者から求められたときは、私見であることを前置きしてから発言する。
- 4) 参加者への確認事項
 - ① 町と議会との違いについて

例) 町の事業は、町執行部が条例案・予算案などを議会に提案し、議会の議決によって初めて町が行うことができる。議会は議決機関としての役割なので、町執行部のように予算提案権や事業執行権を持たないため、事業を計画し実施していくことはできないこと。
 - ② 意見・要望等に関しては、議会で議決された事実や経過は出席議員が知り得る範囲で発言できるが、今後の方向性等決定されていないことについては回答できないこと。
 - ③ 今回出された意見や要望等については町長へ報告し、回答を得た後に開催会場施設への配布・閲覧や、ホームページへの掲載を行うこと。
- 5) 懇談会終了後は、全体で総括する。
- 6) 懇談会で出された町政への質問・要望等は、執行部への情報提供や懇談会時回答の再確認のため、町長に対しすべての事項について回答依頼するものとする。
- 7) 町政への意見や要望等で、議会としてさらに掘り下げて調査・対応した方がいい案件もあると思われることから、すべての事案を所管の常任委員会に分類送付し、当該委員会で調査の可否を決定して調査・提言を行う。
- 8) 意見・要望等で必要なものは、議長から町長へ申し入れ、必要な対応を求める。

4. 団体懇談会

(1) 開催日時及び会場

開催日時	団体名	開催会場
9月24日(水) (13:30~15:30)	柴田町ボランティア・NPO活動連絡会	柴田町地域福祉センター 研修室

(2) 懇談会の内容

- 1) 平成25年度柴田町議会活動報告
- 2) 団体の現状について(団体から説明)
- 3) 懇談

(3) 班編成及び役割分担等

- 1) 団体懇談会は班を編成せず、全議員で行う。
- 2) 代表者は議長とし、司会者、報告者、懇談担当者及び記録者は実行委員から選任する。

役割	担当議員名	
代表者	加藤 克明	
司会者	星 吉郎	
報告者	斎藤 義勝	
懇談担当者	広沢 真	
記録者	舟山 彰	桜場 政行

(4) 開催当日の日程

13:00	実行委員集合・準備(机いす・放送機器・看板等)
13:20	議員集合
13:30-15:30	議会懇談会 (次第) 1. 開会あいさつ(議長・会長) 2. 参加者自己紹介 3. 平成25年度柴田町議会活動報告 4. 団体の現状について 5. 懇談 6. 閉会あいさつ
15:30-16:00	かたづけ

(5) 議会懇談会の進行 (略)

(6) 周知方法

- 1) 議会懇談会への団体の参加者は、当該団体に一任する。
- 2) 町民への周知は行わない。

(7) 記録

懇談会記録は、会議経過及び参加者から出された意見、要望、提言などを要点記録するものとし、10月7日(火)までに議長へ提出する。

(8) 資料

参加者に懇談会資料を配布する。

(9) 準備物一覧 (略)

平成26年柴田町議会懇談会結果報告書(一般懇談会用)及び記録様式(記載例) (略)

Ⅱ 議会懇談会実行委員会の活動経過

(1) 実行委員会

開催回	開催日	開催内容
1	26年3月19日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年議会懇談会実行委員会からの申し送り事項の報告 正副実行委員長を選出 今後のスケジュール
2	26年4月9日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 議会懇談会の実施方法及び内容 実行委員の担当班の割り当て 議員研修会 今後のスケジュール
3	26年5月20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 議会懇談会開催要領(案)の確認 一般懇談会時の資料の選定 議員研修会 今後のスケジュール
4	26年6月3日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 議会懇談会の開催日程の変更
5	26年8月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 一般懇談会の開催概要報告 一般懇談会の反省 一般懇談会の要望事項等の確認と回答担当割り当て 団体懇談会の最終確認 今後のスケジュール
6	26年9月2日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 一般懇談会の要望事項等の確認と回答担当割り当て 今後のスケジュール
7	26年10月10日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 団体懇談会の開催概要報告 団体懇談会の反省 団体懇談会の記録等の確認 一般懇談会における議会の回答 今後のスケジュール
8	26年11月17日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 議会懇談会報告書(案) 町長及び議長への申し入れ事項 平成27年議会懇談会実行委員会への申し送り事項 今後のスケジュール

(2) 全員協議会

開催回	開催日	開催内容
1	26年5月20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 班編成
2	26年7月8日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 議会懇談会開催要領の決定 一般懇談会の最終確認
3	26年9月8日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 一般懇談会の要望事項等の報告 団体懇談会の内容の周知
4	26年11月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 議会懇談会の総括

(3) 議員研修会

開催回	開催日	開催内容
1	26年7月8日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 公開議員研修会 演題 「地域づくりにおける課題の解決方法」 講師 宮城大学地域連携センター地域振興事業部長 古川 隆 氏